



寺報 東光寺だより

令和七年七月一日 発行
第二十七号

静岡市清水区谷田
曹洞宗 谷田山東光寺

当山住職 永平寺焼香師拝命

この度、当山住職が静岡県祖門会会長、洞慶院（羽鳥）の丹羽義裕老師からご推薦を賜り、来春の大本山永平寺授戒会の焼香師（導師）の大役を拝命する事になりました。

永平寺の授戒会法要は年一回、四月二十三日から二十九日までの一週間かけて行われますが、当山住職は禅師様に代わって四月二十七日（月）の晡時法要（午後四時開式）の焼香師を務めます。一生に一度と無い大変名誉な機会を頂けたと思います。当山住職が焼香師を務める法要は、永平寺御開祖、高祖承陽大師道元禅師への献供法要です。

高祖承陽大師道元禅師讃仰御和讃 一番

きみよりよらい
帰命頂米越前の 志比の深谷の雲深く

頼みの親ぞおわします 名もなつかしや永平寺



讃仰御和讃の釈意のごとく、人々の御親である道元禅師は、今なお志比の庄の谷深い永平寺におられ、訪れた人々は心の安らぎを覚えます。それは永平寺そのものが道元禅師のご身体であるように思えるからです。焼香師参拝団は、永平寺の禅師様に拝問する事ができ、現在永平寺に安居している当山徒弟にも面会できる機会ともなりますので、来年の第五回研修旅行を団参に変更し、一泊二日の日程で参拝団を結成させて頂きます。この良き機会に檀信徒の皆様のご参加をお願い申し上げます。

瑩山禅師七百回大遠忌賞典

昨年、大本山總持寺御開山瑩山禅師の七百回大遠忌の勝縁により、当山から五名の方が賞典の表彰を受けました。

戸塚昌宏 様（清水区谷田 元総代 元役員）
戸塚忠正 様（駿河区谷田 元総代 現役員）
望月新一郎 様（長崎南町 前筆頭総代 現役員）
杉山一郎 様（駿河区谷田 現筆頭総代）
石田和子 様（先代住職寺族）

表彰者の皆様は、長年に亘り、菩提寺の為に尽力して頂いている皆様です。

最も長い総代及び役員を五十年以上お務め頂いた戸塚昌宏様は平成三十年に退任されておりますが、他三名の方は現在も寺役員をお務め頂いております。先代住職寺族である現住職の母も元気に境内整備に励んでおります。

今年の春彼岸会法要の場で、本山から届いた感謝状を当山住職から感謝の言葉を添えて受賞者の皆様に授与いたしました。皆様、おめでとうございます。



退任・新任役員の紹介

昨年末で寺役員を十四年間お務め頂いた杉山一夫様（清水区谷田）が退任されました。

杉山様は、役員在任中、平成二十九年に落慶した庫裏客殿の建設委員、及び令和五年に落慶した本堂山門の建設委員として、また八世住職晋山式の実行委員としてもご尽力頂きました。

役員会では、いつも菩提寺と檀信徒様の身になって貴重なご意見を発言してくださいました。



寺役員は退任されましたが、現在も東光寺梅花講の唯一の男性講師として、お仲間と共にお稽古に励み、春秋の彼岸会や施食会の際に御詠歌をお唱えして頂いております。一夫さん、ありがとうございました。そして、これからもよろしくお願いいたします。

今年一月から二名の方が、新たに寺役員に就任してくださいました。



すぎやまきみひろ
杉山公啓 様
（駿河区谷田）



ひみ きみのり
氷見公紀 様
（有度本町）

お二人とも、住職と同年代の方です。よろしくお願いいたします。

徒弟泰平の近況報告

当山徒弟 泰平は、師匠である当山住職から号名（僧侶としての名）として「至誠（しじょう）」を授け、大寒波が押し寄せた今年二月二十五日に大本山永平寺に上山いたしました。至誠とは、きわめて誠実なこと、まごころのことです。徒弟が誠実に仏道修行に励み、立派な僧侶になってほしいという願いが込められています。



上山してから二ヶ月余りは暫到（ざんとう）として見習い修行期間を努め上げ、晴れて五月一日に新到掛搭式（しんとうかたしき）を行い、正式な永平寺の雲水（修行僧）となりました。

正式な修行僧となり自坊に手紙を出すことが許されたことで、五月初旬に徒弟から初めての手紙が届きました。手紙には、正式な雲水になった報告と、不慣れな日々で体調を崩した事もありましたが、その後は心身ともに堅固に安居していると記されていました。

三月の最初の転役（配置換え）で、本山僧堂の大海衆の一人として、宝慶寺接頭の配役を頂戴し、永平寺を離れ、大野市にある宝慶寺（ほうきやうじ）にて修行しているそうです。

この寺院は、ご開祖道元禅師の弟子の寂円禅師によつて開かれた日本曹洞宗第二道場として知られる古刹です。古参和尚も含めて雲水はわずか八名のみで、永平寺と比べると小規模ながら、厳格で充実した修行生活を送っているようです。また、宝慶寺では、少数であるからこそ、永平寺では古参和尚しか勤めることのできない法要の重要な配役を任せられ、作務や食材の調達、食事の支度まで、全て自給自足で行っているそうです。

手紙には、宝慶寺にて様々な角度から修行とは何かを考える機会を頂いている心持ちであると感想が記されていました。

※六月五日の転役で永平寺鐘洒に移りました。

研修旅行 匠の技を堪能

四月二十日に第四回研修旅行を実施いたしました。当日は晴天に恵まれ、三十九名の方が参加してくださいました。



最初の目的地は、秋葉絵本山の可睡斎です。古参和尚が丁寧に案内してくださった諸堂拝観の後、参加者の皆様の家内安全、火災消防を祈願する祈禱法要をお勤め頂きました。最後に小金山典座（料理長）による団参限定の精進料理を堪能いたしました。



次に、法多山尊永寺を拝観いたしました。東光寺の本堂・山門を手掛けた宮大工飛鳥工務店による今年建立されたばかりの愛染堂を参拝し、その後は新緑の境内を自由散策いたしました。

名物の厄除け団子をお土産に買い求める方も多くいらっしゃいました。



最後に飛鳥工務店の国安工場を見学いたしました。番頭の栗田さんが出迎えてくれて、現在、手掛けている静岡県指定文化財の窓泉寺山門の改修工事の様子を詳しく説明してくださいました。参加者からは多くの質問が出て、匠の技のこだわりと緻密さを詳しく学ぶ貴重な機会となりました。

筆供養塔改修 記念法要



三月三十日、穏やかな晴天の日に筆供養塔の改修を記念して、筆供養者の身体健全・心願成就を祈念する祈禱法要を行いました。法要には寺役員の他、近隣の書道教室の先生や生徒さんが参列され古筆を奉納されました。古筆はこれからも随時、供養塔に奉納できます。

境内整備 状況報告

昨年から今年に掛けて、二年前の新本堂山門の建設工事によつて移動していた石像の再設置や、藤の木成長により破損した藤棚の新設を順次行ってきました。

これからも檀信徒の皆様、地域の皆様が、穏やかな気持ちで安心して参りできるお寺を目指して、境内整備、境内美化に努めていきたいと思っております。

